

軽種馬経営財務管理指導教本

—軽種馬経営の安定的発展をめざして—



社団法人 日本軽種馬協会

は し が き

地方競馬の廃止等による競走馬需要の急激な減少により、産駒価格の下落等、我が国の軽種馬経営をめぐる情勢は厳しさを増しつつあり、これまで以上の経営体質の強化、生産体系の高度化、需要の減少等に対応した経費の効率的配分が求められている。

このため、本協会では、地方競馬全国協会の補助を受け、より強い馬づくりに取り組む担い手経営のニーズに対応し得る指導者を育成し、関係機関が一体となって軽種馬経営に対する指導を強化することにより、軽種馬経営の高度化と安定を図り、もって競馬の健全な発展に資することを目的とした軽種馬経営高度化指導研修事業を実施している。

そして、指導者育成の一環として、経営の基本となる経営財務管理の強化を図るための指導者用の教本作成及び研修会等を、社団法人中央畜産会に委託し実施している。

これは、軽種馬生産者が自らの財務管理を行うために必要な帳簿等の作成ができるようにするため、農協の営農指導・金融担当等の一般技術指導者を対象とした財務管理の指導技術の向上を図ることを目的としている。

本教本及び研修会等の実施にあたっては、軽種馬経営高度化指導研修事業に係る軽種馬経営財務管理指導用教本作成委員会を設置し、平成 17 年度より各種検討、現地ニーズの把握等を行ってきた。

それらの結果を基に平成 18 年度に第一弾の教本を作成し、今般、同教本の内容を充実する形で、教本作成に係わり実施した現地ニーズの把握の結果等を踏まえ、あらためて「軽種馬経営財務管理指導教本－軽種馬経営の安定的発展をめざして－」として取りまとめた。

本教本が、軽種馬経営に対する支援の現場において広く活用され、軽種馬経営の安定的な維持及び発展に寄与し、もって我が国の競馬振興の一助となることを願っている。

本教本の作成にあたって、作成に携わった軽種馬経営財務管理指導用教本作成委員会の委員各位、ご支援いただいた地方競馬全国協会、ご指導いただいた日本中央競馬会、現地ニーズの把握にご協力いただいた軽種馬関係各位に深甚の謝意を表する次第である。

最後に、本教本の作成にご協力をいただいた折笠義則先生が平成 20 年 3 月 3 日急逝されました。ここに、生前、多大なご協力とご指導・ご鞭撻をいただいたことに深く感謝申し上げますとともに、哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

平成 20 年 3 月

社団法人 日本軽種馬協会

目 次

教本の利用にあたって	1
I. 軽種馬経営における記帳の役割と検討ポイント	5
1. 軽種馬経営の目的	6
2. 簿記・会計の目的と用途	8
1) 簿記とは何か	8
2) 現実の簿記・会計の用途・目的	10
3. 経営管理・分析の手順	12
1) 経営管理の手順	12
2) 経営分析の視点	13
4. 軽種馬経営の特徴と管理のポイント	16
1) 軽種馬経営の特徴	16
2) 軽種馬経営における経済管理・分析のポイント	17
3) 活用データの整備	18
II. 記帳の方法	19
1. 記帳の種類（簿記の種類）	20
2. 記帳の流れ（仕訳から財務諸表の作成まで）	22
1) 日々の取引の仕訳	23
2) 現金出納帳・総勘定元帳の該当する勘定口座に転記	26
(1) 仕訳書の各勘定口座への分解	29
(2) 仕訳書と総勘定元帳の関係	33
3) 試算表の作成	38
(1) 合計試算表の作成	39
(2) 残高試算表の作成	40
(3) 合計残高試算表の作成	41
4) 損益計算書、貸借対照表の作成	42
(1) 損益計算書の作成	43
(2) 貸借対照表の作成	44
(3) 精算表の作成	45
5) 記帳における組合員勘定取引（クミカン）の活用	47
III. 財務諸表の見方	49
1. 勘定科目の整理	50

1) 勘定科目の大分類	50
2) 勘定科目の詳細内容	51
(1) 費用勘定	51
(2) 収益勘定	52
(3) 資産勘定	52
(4) 負債勘定	53
(5) 引当金勘定	53
(6) 資本勘定	53
3) 勘定科目と損益計算書、貸借対照表との関係	53
2. 各諸表の見方	55
1) 損益計算書	55
(1) 損益計算書の内容と役割	55
(2) 損益計算書の見方	55
(3) 損益計算書を作成する上での留意点	55
(4) 所得税青色申告決算書と法人決算書の損益計算書の位置関係	58
2) 貸借対照表	60
(1) 貸借対照表の内容と役割	60
(2) 貸借対照表の見方	60
(3) 貸借対照表を作成する上での留意点	60
3. 簡易な現金収支（キャッシュフロー）表の作成	63
4. 青色申告決算書を基にした経営分析の仕方	65
1) 損益計算書	65
2) 貸借対照表	67
IV. 財務諸表からの経営上の問題点の発見方法	69
1. 経営分析の視点	70
2. 分析モデル	71
3. 収益性の分析	73
1) 当期純利益と売上高	73
2) 売上高営業利益率	74
3) 総資本回転率と総資本営業利益率	75
4) 繁殖牝馬 1 頭当たりの指標	76
4. 安定性の分析	77
1) 流動比率	77

2) 当座比率	78
3) 負債比率	79
4) 固定比率	80
5) インスタント・カバレッジ・レシオ	81
V. 参 考	85
1. 農家経済の動向	86
1) はじめに	86
2) 収益部門の推移	86
3) 費用部門の推移	87
4) 収支の推移	89
5) 収益構成の推移	91
6) 費用構成の推移	94
2. 収益性から見た軽種馬経営の比較	97
1) はじめに	97
2) データの性質と処理の特徴	97
3) 4年間収支の黒字・赤字による経営分析	98
4) 費用項目における黒字経営と赤字経営の分析	102
5) 赤字経営牧場のモデル的考察	104
6) 収益安定経営の平均水準との比較	106
(1) 収益安定経営の定義	106
(2) 収益安定経営の牧場規模	106
(3) 収益安定経営の収益構成	106
(4) 収益安定経営の費用構成	107
(5) 収益安定経営の借入金	108
3. 税務管理と申告	109
1) 所得税法の概要	109
2) 法人税法の概要	110
3) 税務申告上の留意点	113
4) 青色申告制度の特典	119
5) 減価償却制度の改正	122
(1) 減価償却制度の抜本的な見直し	122
(2) 資本的支出の取得価格の特例	123
(3) リース取引の会計処理について	126
VI. 教本執筆者一覧	130
VII. 参考・引用資料等	131

教本の利用にあたって

教本の利用にあたって

○作成のねらい

本教本は、軽種馬生産者が自らの財務管理を行うために必要な帳簿等の作成ができるようにするため、農協の営農指導・金融担当等の一般技術指導者を対象とした**財務管理の指導技術の向上**を図ることを目的として、①記帳の役割・方法、②財務諸表の見方、③財務諸表からの経営上の問題点の発見方法等について、取りまとめた、経営指導用の手引書である。

○対象とする経営等

基本的には軽種馬経営全般を対象としており、家族、法人等の経営形態、飼養規模等にかかわらず普遍的な経営管理のポイント等を取りまとめた。

ただし、家族・法人等の別、白色申告・青色申告の別等により、経営の記録・記帳、用いる簿記の種類・整理方法、決算方法・内容等が違うことから、本教本では、今日、軽種馬経営の情報として指導の現場に最も蓄積されている所得税青色申告決算書の財務諸表の様式を用いている。

また、簿記・記帳については、正確な記帳、多角的な経営管理の重要性等を鑑み、複式簿記を基本においた。

○用いている所得税青色申告決算書の様式例

北海道農業協同組合中央会が示している「軽種馬経営用所得税青色申告決算書様式」を用いている。

これは、個人事業主における個人経営用の様式である。

法人決算書の損益計算書を経営分析の参考資料として組替整理する一例として、個人経営用の青色申告決算書様式への転記例を P58 に示す。

ただし、簡便的に行なっていることに留意されたい。

○記帳の方法

記帳の方法については、本来、経営の性格や記帳のレベル、税務申告方法等の別によって、用いる記録簿の様式、記録の手順、用いる科目名等が違ってくる。

そこで、本教本における記帳の方法では、簿記は複式、財務諸表は青色申告決算書の諸表を用いて、記帳・記録の全体的な流れや考え方、注意点等を理解していただくことに主眼をおいて記載しており、いわゆる簿記・会計の参考書・専門書とは性格を異にしている。

よって、本来の簿記・会計の規則、考え方にたった場合、説明が不十分な部分、

割愛している部分等がある。簿記・会計について、より深い知識を得るためには、それらに関する参考書・専門書等を一読されたい。

○参考図書

本教本を読み進める過程で、用語の意味、簿記会計・税務申告等に関する詳しい内容等を知りたい場合には、専門の図書等を参考にされたい。

以下にその一部を紹介する。

- ・ 畜産簿記（JA 畜産経営診断士教科書）（全国農業協同組合中央会編、家の光協会刊）
- ・ 畜産経営者のための青色申告の手引き（社団法人中央畜産会刊）
- ・ 畜産経営における自己診断の手順と方法（社団法人中央畜産会刊）
- ・ 国税庁ホームページ [<http://www.nta.go.jp/>]

○本教本に関する照会先

社団法人 日本軽種馬協会	Tel 03-5473-7091～6
	Fax 03-5473-7097
社団法人 中央畜産会	Tel 03-3581-6683
	Fax 03-5511-8205

